



第11回
特別展示

日本の地域文化とゲーム展



大阪商業大学アミューズメント産業研究所



図録
日本の地域文化とゲーム展

ごあいさつ

昨年当アミューズメント産業研究所は十周年の節目を迎えた。毎年展示会を行ってきたが、その内容は「囲碁」「将棋」「かるた」「すごろく」とゲームを形から捉えたものであった。本年度の展示会は切り口を変え、日本各地という地域にスポットを当てた。囲碁、将棋など全国的に遊ばれているゲームもあるが、特定の地域でだけ遊ばれているゲームが存在し、その数もかなりの数に昇る。地ビールや食のB級グルメのゲーム版とでも言うべきものである。地ゲームとでも呼べようか。その地域では誰でも知っているものもあれば、ごく限られた人間しか知らないものもある。全国的に有名なものもあれば地元でもほとんど知られていないものもある。古い時代から遊び継がれているものもあれば、つい先年誕生したものもある。それらを一堂に集めてご紹介したい。

第一のブロックは古くからある伝統的なゲームを集めている。その土地ならではのものもあれば、昔は広範囲であったが次第に遊ばれなくなって行き、特定の地域にのみ残っているものもある。

第二のブロックは近年新たに生み出された地域ゲームである。多くの自治体が地域おこしに力を入れている。その手段は様々で、食を題材にしたもの、ゆるキャラを使ったもの、ご当地ヒーローやご当地アイドルなどがあるが、ゲームを利用したものも見受けられる。伝統的なものがない場合、新たなものを産み出すことがある。地域の特産品を使ったもの、観光地に因んだものなど特色が現れていて楽しい。鑑賞型のもの、参加型のものとあるが、成功しているものは他の地域からの参加者や見学者を呼び込み、立派に観光産業となっている。

第三のブロックでは、かるたやすごろくといった普遍的なゲームで地域色のあるものを集めてみた。これらには遊び方の説明がいらない利点がある。また、印刷物として比較的安価に製造できるメリットもあり、多くの地域で作られている。土産物や教育玩具としての効用もある。かるたは短くまとめた言葉を何度も読んだり聞いたりする音声的效果、双六は視覚的效果により情報を効果的に表現することができるのである。

基本的にゲームというのは楽しいものなので参加者を満足させることは可能である。しかし、宣伝や運営の仕方、あるいは経済的な意味では成功と失敗がある。今回展示しているものは、大小はあるがある程度の成果を残しているものである。他に、続かなかったイベント、今にも消えそうな伝統ゲームがいくつもある。そのあたりも考えながら見ていただくと嬉しい限りである。

目次 Contents

1. 伝統ゲーム

下の句かるた	1
挽馬、曳馬、挽曳、馬力	2
ゴニンカン	4
打 毬	5
わんこそば	6
カプト虫相撲	7
どんころ独楽	8
野馬追い	9
上毛かるた	10
白久保のお茶講	11
東八拳	12
凧合戦	13
越後の闘牛	15
蹴 鞠	16
ごいた	17
段駄羅	18
旗源平	19
詩かるた	20
カロム	21
茶香服	22
かるた	23
金魚すくい	24
芋競べ	25
菖蒲綱引き	26
野球拳	27
闘 犬	28
箸 拳	29
遊戯盃	30
蜘蛛合戦・蜘蛛相撲	31
ペーロン	32
論語かるた	33
ウンスンカルタ	34
なんこ	35
はまなげ	36

2. ニューゲーム

人間ばん馬	37
雪合戦	38
スコップ三味線	39
ちゃぶ台返し	40
スリッパ卓球	41
マウスパッド投げ	42
手裏剣打ち	43
鹿せんべい飛ばし	44
バスケットピンポン	45
囲碁ボール	46
ゲタリンピック	47
まくら投げ	48
雑巾がけレース Z-1	49

3. 一般ゲームの地方版

郷土かるた	50
方言かるた	51
郷土花札	52
郷土すごろく	55
モノポリー地方版	56
その他の地域ゲーム	57

「地域文化とゲームとの関係」	59
協力団体一覧	60



バスケットピンポン

行われている地域 和歌山県

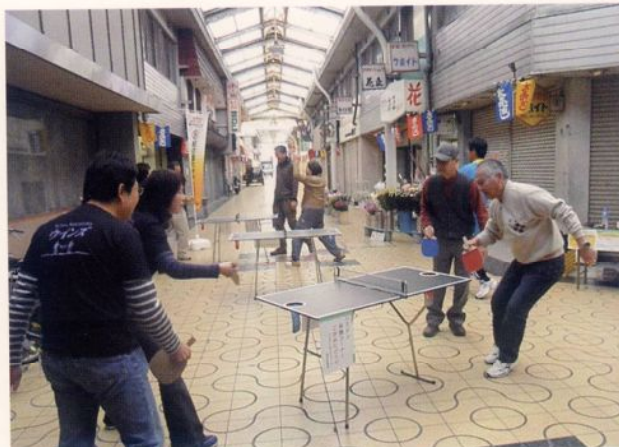
和歌山県発祥のニューゲーム。小型の卓球であるが、卓球台の手前側に円形の穴が開いており、下部に布製の籠が取り付けられている。これはバスケットボールのゴールの籠と同様、玉が入る部分だが、落ちないように縫われている。競技は通常の卓球のように、球を返せない相手には1点が入る。11点制で球が相手のバスケットに入ると2点を得る。台の大きさは60cm×120cmで通常の卓球のちょうど半分の大きさである。1965(昭和40)年に和歌山県出身の作曲家、北原雄一氏が発明したとされている。和歌山市に「日本バスケットピンポン協会」があり道具の製造販売も行っている。子供や親子を対象とした大会が田辺市、和歌山市などで行われている。



バスケットピンポン大会



台の高さは2段階に調節できるようになっている。



市内でも行われている。